

反閉、陰陽師頭參向、黃牛二頭、同門之内、左右之脇ニ向、與引立、權府官人水左入、火童女從、中門内歩出、各諸大夫一人相具、中門之砌ニ立、廳官二人持椽燭等、相副、御車遣入時、水燭二人頗歩出天、大藏卿通職續松火ニ寄、童女燭ニ付之天、立直天、中門ヲ還入天、於御車前天、橋隱砌ニ參寄、本付諸大夫二人各取燭椽等天、從橋隱間參入志天、燈爐油付、水童女持物、各交帶之後、即侍相具天、從東中間出、畢反閉、

匱袋

〔延喜式四十〕供御年料中宮亦同

兩面袋二口、一口御匱料、油繩覆二條、一條御膳櫃料、油繩袋二口、一口御匱料、一口御鹽料、已紺布一丈、燒御鹽水釜覆料中略

右便納司家隨時出用、

匱雜載

〔榮花物語十九〕御くしあびのないしのすけのこよひ治安三年四月一日のつぼね、えもいはず去つらはせたまへり中略、こよひの御まへのものども、やがて給はりたる、つぼねには、びやうぶきちやう、二かい、すゞりのはこ、くしのはこ、ひとり、はんざう、たらひ、た、みまで、のこりなくたまはる、

〔辨内侍日記下〕常の御所には、きやうようの丸、いかけおに、ほらがひをすりたる御づし、御手ばこ二、御すゞり、御はんざう、たらひ下略

〔今昔物語十九〕内記慶滋保胤出家語第三

今昔、□□天皇ノ御代ニ、内記慶滋ノ保胤ト云フ者有ケリ中略、石藏ト云フ所ニ住ケル時キニ、冷ミ過シテ腹解ニケリ、廁ニ行キヌル間ダ、隣ノ房ニ有ケル法師ノ聞ケバ、廁ニ居タリケル者ハ、椽ノ水ヲ浚泛ス様也、

〔長門本平家物語十九〕昌明太刀をなげ捨て、得たりおうといただきたり、上になり下に成するに、大源次宗安大石をとり、十郎藏人のひたひをちやうと打わりたり中略、さて藏人を引をこしてみ